

当日会場で寄せられた骨子案に対する意見・質問

1	私は一昨年まで神奈川県 of 県木連の会長をしていた。県森林審議会にも6年在籍したので、山には非常に興味を持っている。山は持っていても資産価値はなく、管理が大変である。この現状に行政が手を差し伸べてくれたということで、私たちは喜んでいる。大径木の処理はどのように行っていくのか。今後どのような森林管理を行っていくのか。
2	神奈川県民の約6割は相模川水系の水を飲んでいる。相模川水系の約8割が山梨県であるということは、神奈川県民の水源地は山梨。相模川水系の上流域に水源税は、驚くことに0.9%しか充てられていない。相模川水系上流域対策の推進について、もっと水源税を充てて推進すべき。県外上流域対策をどのように位置付けるのか。

来場者アンケートで寄せられた骨子案に対する質問・意見

①森林関係、②水関係、③県民参加、④県民フォーラムの内容・運営、⑤配布資料、⑥その他

No.	意見番号	内容	回答希望
1	①	水源環境を保全するためには、森林の管理伐採を適切に行う事や、シカ等の生物による被害を防ぐ事が非常に大切であることが分かりました。しかしながら水源環境税については期間を区切った税源であり、期間終了後の森林の管理状況が心配される所です。その意味で森林の保全という以上に、森林資源の活用を図ることが、重要な視点であると思えます。森林資源の活用を活発化する上で林道整備や材木の活用は効果的であると思えます。通常の公共施設の整備や維持管理において水源地特産の材木を使ったり、個人に対しても材木購入に補助することは、水源保全の上でも許容される税の使い方であると思えます。今後こうした視点からの森林資源活用に向けた取組みをお願いいたします	有
2	④	特定の意見を持つ県外団体の意見が目立っている。県民フォーラムなのに県外の方が発言すべきではない。制限すべき	有
3	⑤	1. 合併処理浄化槽の整備促進について、浄化槽支援エリアの拡大は生活排水処理率の向上により、水源中流域河川の水質改善することと、県内各市では調整区域の下水道整備事業を10年概成として進めている途中で、水源地としての合併処理・高度処理浄化槽をどのように支援し、エリア拡大するのか詳細を知りたいと思えます。流域下水道計画・公共下水道計画の県市町村が進めている中で、どのように整合性を計り進めていくのかは、県土整備局と調整して頂きたい。清川村の人口3,000人は公共下水道をすでに整備している。津久井湖・相模湖へ流入域を同じく高度処理浄化槽の整備促進を水源中流域へ支援拡大するのでしょうか。 2. 桂川・相模川流域協議会の言われる神奈川県の水の半分は山梨県の水である、水源税の0.9%では足りないのでしょうか。例えば清川村の3万頭の豚のし尿処理はどのようにされて小鮎川に流れ込むのでしょうか	有

4	—	<p>*四十八瀬川流域について（他の河川状況は分かっていないので）河川敷の①外来植物の繁殖（オオブタクサ、アレチウリ）②繁殖木（ニセアカシア、オニグルミ他）の異常繁殖対策は？</p> <p>*葦、ヨシの繁殖による河床の上昇対策は？（NPO四十八瀬川自然村河川部会では河床の葦、ヨシを春に野焼きしたいと考えるが可能性は）</p>	有
5	①	<p>ワイルドライフレンジャーの取組みについて。シカの捕獲を行う目的・どの位生息していて、どの位減っているのか、その効果が不明確であると感じました（それだけシカが多い中、捕獲数が少ないのであれば、意味があるのか）また、森林の保全といえど、命を奪う事は生物多様性と逆の方向に向かっている気もします。別の場所に住ませる、今後のシカの増加を防ぐ活動に力を入れた方が良いのではないのでしょうか。今の取組みがシカの「管理」、森の保全になっているとは思えない内容でした。</p>	無
6	⑤	カラー版でHPに載せてください	無
7	—	全般に早口のせい。マイクの声が不鮮明で聞きづらかった	無
8	—	<p>厚木市内の企業の環境活動の一環として、生物多様性、環境資源保護の観点から参加しました。全体的には税金の使い途の承認を得る場との印象が強く「自然環境保護の重要性」や「神奈川の自然を今度どのように創造してゆくか」「これからの活動により、どれだけ回復したか」という説明が不十分だと感じました</p>	無